

## 2014 TNT 応募用紙

[注意] これは2014年のTNT(アトランタ)の書式を訳したものです。

2015の日本でのTNTの書式ではありません。日本での書式は後日、これに準じたものが公開される見通しです。

説明を丁寧に読んでください。質問に対するあなたの回答は、あなたのMI学習経験全体、MIトレーニングの目的そしてMINTによるTNTに参加を希望する理由を表したものとしてください。もし質問に答え応募用紙を完成させるに際して何か質問や困難があれば助けを受けるために〇〇にメールを送ってください。

### 記入上のガイド

以下のそれぞれの質問に対して、表がある場合はそれを完成させてください。あるいは箱のなかに簡略な説明を書いてください。記入にあたっては、もしある場合には文字制限に従ってください。(コンピューター使用に関する説明は省略)

応募者氏名:

### 1. あなたはこれまでに、MINTによるTNTに応募したことがありますか?

はい      いいえ

もし「はい」の場合は、以下の空欄に、それはいつか、応募の審査結果はどうだったかについて書いてください。応募に対する回答にあなたがどのように対応したかについても含めて書くこと。(150語以下)

1.

### 2. これまでに受けたMIトレーニングについて— あなたはどのようにMIを学んできましたか?初めてのトレーニングおよびその後のトレーニングについてリストにして書いてください。以下の表にある詳細事項に従うこと。

2.1 MIのトレーニングの形式とレベルを簡略に記入してください(例えば、導入レベルの講義、中級のワークショップ、上級レベルのコーチングつきワークショップ)。そのトレーニングが演習やスキル訓練を含むものである場合”E”に、MIスキルの演習を含まない講義のみの場合には”P”をチェックしてください。

2.2 トレーニングの年(もしわかれば月日)

2.3 時間(例:2時間、4時間、8時間、18時間など)

2.4 トレーナー トレーナーの名前を書いてください

2.5 トレーナーはMINTメンバーですか? Y=はい、N=いいえ、いいえの場合その人のMIでの専門は何ですか?

2.1 形式とレベル	演習か講義か	日付	時間	トレーナー	トレーナーはMINTメンバーか
	<input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> P				<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
	<input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> P				<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
	<input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> P				<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
	<input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> P				<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
	<input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> P				<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N

2.6 もし追加するコメントがあればお書きください。(任意・150語以下)

2.6
-----

3. 講演やワークショップに参加する以外で、あなたはどのようにMIのスキルを高めてきましたか書いてください。あなたが実際にMIを行っているところを直接観察してのスーパービジョンおよびMITIおよび類似のコーディングを自分の面接に用いた経験を強調すること。

3.1 熟達度を上げる活動 あなたが現在進行形で行っている学習は何ですか。(例:1対1のコーチング、コーチングサークルでの練習、録音されたMI面接に関する見直しやディスカッションなど)

3.2 活動の日付 いつそれらの活動はなされましたか(年・月)

3.3 スーパーバイザー もしその活動がスーパーバイズを受けている場合、コーチングやスーパービジョンをしたのは誰ですか

3.4 コーディング あなたの事例はコーディングされましたか? もしそうなら、どの指標が使われましたか(例:MITI, MISC, BECCI など)

3.5 フィードバック あなたは具体的にはどのようなフィードバックを受けましたか。そしてそのフィードバックを実際の学習にどのように役立てましたか。もしあなたの事例がMIに関するコーディングを用いて評価されたのであれば、その結果を要約してください。

3.1 熟達のための活動	3.2 日付	3.3 スーパーバイザー	3.4 コーディングの種類	3.5 フィードバック

3.6 初めてのトレーニングから、ワークショップや講義に参加する以外の方法で、どのようにあなたの MI に関する知識を新しくしてきましたか？あらゆる形式の自分で行う学習について書いてください。例:本・記事・研究の総説を読む、DVD、同僚との相談会に参加するなど(150 語以内)

3.6

4. あなたが MI を用いる臨床もしくは、仕事上の状況を書いてください。

4.1 対象者 どのような対象者にあなたは MI を使っていますか？（例:薬物・アルコール問題での入院患者、喫煙者、大学生、刑務所の収容者、執行猶予中の人、減量中の人など）

4.2 現場の種類 どのような現場ですか？(例: 病院、健康クリニック、依存症クリニック、大学、学校、司法、地域研究など)

4.3 日付 それらの対象者にどのくらいの期間 MI を使ってきましたか(年)

4.1 対象者	4.2 現場の種類	4.3 期間

4.4 これらの対象者・現場では**具体的には**どのような課題があり、あなたは、どのように MI がそれに対して役立つと気づきましたか。MI があなたの面接もしくはグループ面談をどのようにより良いものにしたかについて、最低でも 1 つ、具体的な例を挙げてください。(150 語以下)

4.4

5. 誰に対して、どのような現場に対してあなたは、すでに MI のトレーニングを行いましたか。あるいは、近い将来行うと予想されますか。

5.1 日付 予測される、または既に行った MI トレーニング

5.2 トレーニングの概要 対象者、対象となる現場、あるいは MI トレーニングの状況について簡略に述べてください。(今後予測されるもの、すでに行われたものの両者について書くこと)

5.3 コ・トレーナー コ・トレーナーは誰でしたか。もしくは、あなたは誰かのコ・トレーナーを務めたことがありますか

5.4 コ・トレーナーは MINT メンバーでしたか? MINT メンバーのコ・トレーナーをする予定はありますか?

5.1 日付	5.2 トレーニングの概要	5.3 コ・トレーナーの氏名	5.4 コ・トレーナーは MINT メンバーですか?
			<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
			<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
			<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
			<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N
			<input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N

5.5 追加コメント (任意・150 語以下)

5.5

6.1 TNT での学習計画 TNT への参加が認められた人はそれぞれ個別の学習計画を立てることが期待されています。この過程の最初として、あなたが TNT に参加することによって達成しようとする 2~3 の学習上の目標を確定してください。(それぞれの目標は MI を実践するスキルではなく、MI の トレーニングを行うスキルと関係していること。150 語以下)

目標 1.

目標 2.

目標 3.

7..MINT は自由に情報や教材やトレーニングの経験を分かち合うことで、メンバーの学習とスキル向上を現在進行形で支援する国際的な組織であることを誇りに思っています。MINT はまた、メンバーに気前よくその時間や才能を提供し、他のメンバーの学習の助けをすることを奨励し、仲間への「恩返し」の精神を価値あるものとして尊重しています。

7.1 以下の空欄に、あなたはなぜMINTのメンバーになりたいのか、あなたはどのようにこのMINTが尊んでいる価値観を行動に示すのか書いてください。(200語以下で)

7.1

8..推薦状 あなたがMIを行っているところを、スーパービジョン、トレーニング、コーチング、フィードバックなどの機会に**直接観察**し、あなたのMI熟達度を描写できるMIトレーナー2名の名前と連絡先を書いてください。この人たちはあなたのMIのスキルについてよく知っていなければなりません。単にあなたが参加したワークショップの講師やファシリテーターをしたというだけではいけません。この人たちがMINTトレーナーである場合は印をつけること。

私達は、追加情報を得るためにあなたが示したトレーナーに連絡をとるかもしれません。必ずこの人たちから、応募用紙に彼らの名前を記入する前に、私たちが連絡を取る可能性がある旨許可を得てください。(推薦の手紙は必要ありません)

	トレーナーの氏名	Eメールアドレス	電話番号	MINTメンバーですか？
1				<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
2				

音声記録提出用チェックリスト  
2014 TNT in Atlanta 応募用

[注意] これは2014年のTNT(アトランタ)の書式を訳したものです。  
2015の日本でのTNTの書式ではありません。日本での書式は後日、これに準じたものが公開される見通しです。

あなたの事例は、

- 臨床家とクライアント一人ずつだけのものであること。
- 本物の治療での面談であること、**ロールプレイであってはならない。**  
(もしあなたに患者や来談者に接する機会がない場合、もしくはあなたの所属機関から録音および事例提出の許可が出ない場合には、リアルプレイによるものも受け付ける)
- 明確な目標とする行動**があり、**事例提出用紙**にそれが記載されていること(目標行動が明確に特定されていない場合コーディングは不能である)。
- 少なくとも20分の長さがあり、中断や編集を含まないこと。
- 明瞭に聞き取れること(臨床家も来談者も)。
- 来談者が録音と録音の解析について同意する趣旨の発言から始まること(推奨されるが必須ではない)。
- 来談者を特定できるいかなる情報も含まない事
- 「**来談者の許可取得に関する医療者の宣誓書**」とともに提出されていること。それは面接の録音の書面による許可を来談者より取得し、その文書による許可を来談者のカルテに保存したというあなたの宣誓を確定するものであること。リアルプレイの場合でもその人から書面による許可を取り「**来談者の許可取得に関する医療者の宣誓書**」を送ること**(来談者の録音許可同意書は提出しないこと。それは来談者のカルテに保管されていること)**。
- 事例応募用紙**とともに提出すること

以下の**2つの必要書式**を**録音事例**とともにeメールまたは郵送でDenise Ernstまで送ること。

1. 来談者の許可取得に関する医療者の宣誓書
2. 事例応募用紙

**付録A：**  
**リアルプレイを台無しにする方法ベスト3**

**1. 対象者の選択を間違える**

- ・対象者のことをあまりにもよく知っており、想像しすぎてしまう。
- ・面接が深くなるにつれて、面接を表面的なものとしようとする暗黙の合意が面接にあらわれ、非常にぎこちない感じになるかもしれない。
- ・もしくは、相手が
  - ・あなたを助けたがりすぎるかも！
  - ・その話題について実はあまりアンビバレントでないかもしれない
  - ・その話題について本当はあんまり話したくないかもしれない
  - ・「良い患者」を演じようとしてしまうかもしれない
  - ・MIとしてふさわしくない話題を選んでしまうかもしれない

**2. MIのスキルを伝えるには適さない場所・場面を選んでしまう**

- ・忙しい職場の真ん中
- ・自宅の台所
- ・通りを歩きながら
- ・喫茶店で
- ・近所のバーで
- ・面接者の家で夕食後に飲みながら

**3. 適さない機材を選択する**

- ・テーブルの上の電話機
- ・ちょっとしたことには手元にあって便利でも、録音の質は信頼できない手軽な携帯用装置
- ・ビデオカメラ
- ・マイクのついていない古いカセットレコーダー

付録B：  
来談者同意書  
(見本)

これは、来談者より録音に関する許可を得るための書式の**見本**です。これは単なる見本です。 あなたの所属機関には、それに代わって用いるべき特定の書式もしくは手順があるかもしれません。来談者の氏名や来談者を特定できる情報を有する書類はすべて来談者のカルテ内に留めてください。**この書類を[応募のために]送ってはいけません。**

(匿名の) 来談者の録音許可

私は私を担当する医療者が面接や臨床上のスキルに関する研修事業に参加を予定していることを理解しました。私は自分の治療上の面接の録音をする許可を私の担当医療者に与えます。私は私の担当医療者がそれを **Motivational Interviewing Network of Trainers (MINT)** に送付し、そこにおいてMIの専門家によって私の医療者の評価をする目的で査定されることを理解しました。私の名前や私に関するいかなる情報もMINTには提供されません。また録音またはデジタルファイルは私の医療者が研修応募の手続き終了時もしくは、2014年12月31日のいずれか早い時点で廃棄されることを理解しました。

私は録音を拒否する自由があること、それによって私の受ける治療に何ら影響がないことを理解しました。私はこの書類の署名入りのコピーが私のカルテに保存されることを理解しました。

来談者氏名 \_\_\_\_\_

来談者署名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_

医療者署名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_



### 来談者の許可取得に関する医療者の宣誓書

私(医療者の名をご記入ください)\_\_\_\_\_はこの録音された面接事例が来談者の許可と理解のもとに得られたものであることを宣誓します。私は来談者の署名の入ったこの事例録音に関する許可文書の控えを、録音が行われた施設の来談者のファイル内に保管します。

応募者の署名 日付\_\_\_\_\_

この書類はあなたの録音事例に付けておくこと。  
必要書類はeメールまたは郵送で **Denise Ernst** まで送付すること。

## 事例応募用紙

応募者氏名：

応募日(アップロードまたは郵送した日付)

ファイルの種類

\_\_\_ **Hightail** または **wetransfer** によるデジタルファイルのアップロード(強く推奨)

\_\_\_ **CD** または **thumb drive** に保存されたデジタルファイルの郵送

\_\_\_ カセットテープの郵送

音声事例の言語 \_\_\_\_\_

事例の言語が英語でない場合は、**Denis Ernst** メール [////////@/////](mailto:////////@/////) へ直接連絡し事例提出方法の助言を受けてください。

録音日 \_\_\_\_\_ 録音の長さ \_\_\_\_\_ コーディングを求める部分 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ この録音は本当の患者/来談者との対面でのものである

\_\_\_\_\_ この録音は本当の行動変容について取り組んだ「リアルプレイ」のものである

あなたの変化の目標は何ですか？ この目標とする行動は面接のチェンジトークを評価し、この会話におけるMIの適切さを評定するのに用いられます。

面接が実施された文脈を記載してください（職種・部門、実施の種類、クライアントの種類などコーダーの事例理解の助けとなることならなんでも 150語以内で）

## 事例応募用紙(続き)

応募者氏名：

面接の目的について記載してください。なぜこの状況でMIが選択されたのですか？  
なぜこの来談者が選択されたのですか？（150語以内で）

自分の面接を聞いた後で、この事例で示されているあなたのMI実践上の強みは何と  
思いましたか？可能であれば例をあげてください。それを見つける助けとなるように、  
そうしたMI上の強みが録音されているおおよその時間帯を示してください。（150語  
以内で）

MIの観点から見て、改善したいと思う領域について1つ例をあげてください。（150  
語以内で）

---

応募者氏名

---

応募者の署名

この書類はあなたの録音事例に付けておくこと。  
必要書類はeメールまたは郵送で Denise Ernst まで送付すること。